壁付2ハンドルシャワー・混合栓 取扱説明書(安全編)



- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- ■この取扱説明書はシャワー仕様のイラストで説明しています。

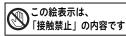
安全上のご注意

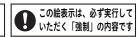
- ●ここに示した | <u>↑</u> 警告 は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ●ここに示した │<u>↑</u>↑ **注 意**│は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはい ′けない「禁止」の内容です|



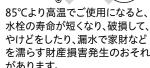
この絵表示は、「分解禁止」の内容です





やけど、漏水を やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。 した場合の処置 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。 そして専門の業者に修理を依頼してください。

給湯温度は85℃より高温で使 用しないでください。 より高温



があります。 シャワー仕様の場合 シャワー使用中に2か所同時使



他所の水栓の使用等により水圧変動 が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇 し、やけどをするおそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機を ご使用の場合、水栓には絶対に 通電しないでください。



通電すると水栓が発熱し、破損 して家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。

加工及び接合等の改造はしな いでください。



器具が破損し、やけど・けがをし たり、漏水で家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。

通水させないでください。

通水させると器具が破損し、や

けどをするおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた

項目以外はしないでください。

小さいお子様だけの使用は避け てください。



ます。

(シャワー仕様の場合) 寒冷地仕様の場合 シャワーには60°C以上のお湯を 水抜き栓は水抜き以外の目的で

禁止



温の湯が出てやけどをしたり、湯 水が噴き出して、家財などを濡ら す財産損害発生のおそれがあります。

器具の左側は熱くなっているた

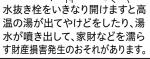


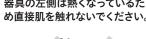
給湯側のため高温になっており、



やけど・けがをするおそれがあり

開けないでください。







やけどをするおそれがあります。

1ページ

器具が破損し、やけど・けがをし

たり、漏水で家財などを濡らす財

産損害発生のおそれがあります。

分解禁止

湯側ソケットは熱くなっているた め直接肌を触れないでください。



給湯側のため高温になっており. やけどをするおそれがあります。

シャワー仕様の場合

お使いになる前に、吐水口側か

シャワー側かを吐水切換ハンド

ルで確認してから湯をお使いく

確認

ださい。

ださい。 接触禁止

高温の湯をお使いのときには吐水

口および器具の左側は高温になっ

ています。直接肌を触れないでく

やけどをするおそれがあります。

湯水を出すときは、必ず水側のハ ンドルから開いた後、徐々に湯側 のハンドルを開いて湯温を調節し



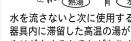
湯側のハンドルから開くと、 吐水口とシャワーを間違うと、 高温の湯が出てやけどをする やけどをするおそれがあります。 おそれがあります。

湯水を止めるときは、必ず湯側の ハンドルから閉めてください。



次に使用する時、器具内に滞留し た高温の湯が出てやけどをするお それがあります。

高温の湯をお使いの後は、器具内 に高温の湯が残らないように、し ばらく水を流してから止水してく ださい。



Oy

水を流さないと次に使用する時、 器具内に滞留した高温の湯が出て

器具に乗ったり、よりかかったりし て無理な力を加えないでください。 叶水口先端に重いものを下げたり、 力をかけて回さないでください。

湯水を使うときは、低温から少しず

つ吐水させて適温にし、適温かどう

かを確かめてから吐水してください。

適温かを確認

確かめないと高温の湯が出てやけどをす

るおそれがあります。また叶水口とシャワー

の切換時や、シャワー吐水状態の切換時

に、吐水温度が高くなることがあります。

シャワー仕様の場合

シャワー使用後は、吐水切換ハン

ドルを必ず吐水口側に切換えてく

吐水切換ハンドルがシャワー側にな

っているのを気付かずに湯を出すと

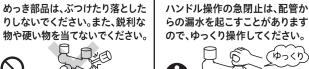
やけどをするおそれがあります。



ださい。

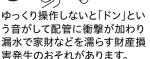
器具が破損し、けがをしたり、 漏水し、家財などを濡らす財産 損害発生のおそれがあります。

やけどをするおそれがあります。 ハンドル操作の急閉止は、配管か



禁止 めっきの表面が割れて、けがをす るおそれがあります。万一めっき の表面が割れた場合は、ただちに 新しい部品に交換してください。

ので、ゆっくり操作してください。 (ゆっくり)



凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの 場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻 くなどして、凍結を防止してください。寒冷地 仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓 金具の水抜き操作を行ってください。 VIII TOUS



水抜きしないと凍結破損で漏水し、 家財などを濡らす財産損害発生の おそれがあります。

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。 **፩፩** 0120-474-161 ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください 水栓に貼ってある品番シールでご確認くだ さい。シールの左下が品番です。

[シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧く ださい] ●商品に関するお問い合わせはKVKお客様

ご相談センターにご連絡ください。 **2**.0570-099-552

2 年

1 年

取付

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています ··診断·故障箇所の修理及び部品交換·調整・修理完了

時の点検等の作業にかかる費用

・・修理に使用した部品代

出張料 …製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用 株式会社 **KVK** 本社·工場/〒501-1195岐阜市黒野308 インターネットホームページ http://www.kvk.co.jp/

2ページ

日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

[軽い汚れの場合]

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、 乾いた布で拭き取ります。

「ひどい汚れの場合]

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布 で汚れを拭き取ってから、乾いた布でから拭き します。



[使ってはいけないもの]

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シン ナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・ア ルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。 金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれが ありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

[湯、水ハンドルの操作性]

時々湯、水ハンドルをいっぱいに回してください。

湯、水ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、

シャワー仕様の場合 [吐水切換ハンドルの操作性] 時々吐水切換ハンドルをいっぱいに回してください。

吐水切換ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、 吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。



時々回す

配管まわりからの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

【 ⚠ 注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などにより継続的な漏 水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

(部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数 4 年 5 年 9 年 12 年 3 年 6年 7 年 8 年 10年 | 11年

お客様による日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換 (シャワーホース・パッキン等) [有料] 摩耗劣化部品の交換[有料]

買い替え ご検討

部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)

例)カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等

【 / 注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しな いと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。 (逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧くだ

> さい) 部品交換は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

3ページ 4ページ

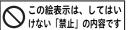
壁付2ハンドルシャワー・混合栓 施工説明書(安全編)

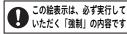


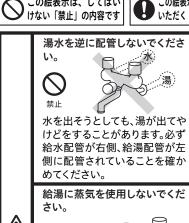
施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

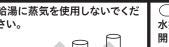
安全上のご注意

- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。





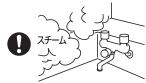






器具が破損して、やけど、漏水の おそれがあります。

スチームルーム及び乾燥室にご 使用の際は相談ください。



器具が破損して、やけど、漏水の おそれがあります。

給湯温度は85℃より高温で使 用しないでください。



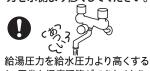
85℃より高温でご使用になると、 水栓の寿命が短くなり、破損し て、やけどをしたり、漏水で家財 などを濡らす財産損害発生のお

それがあります。 寒冷地仕様の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で



水抜き栓をいきなり開けますと高 温の湯が出てやけどをしたり、湯 水が噴き出して、家財などを濡ら す財産損害発生のおそれがあります。

給水圧力は給湯圧力より高くするか、 同圧になるようにしてください。 また、湯側を加圧する場合も湯側圧 力を水側より低くしてください。



と、正常な温度調節ができなくなり、 やけどをするおそれがあります。

加工及び接合等の改造はしない

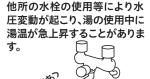


器具が破損し、やけど・けがをし たり、漏水で家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機を ご使用の場合、水栓には絶対に 通電しないでください。



通電すると水栓が発熱し、破損 して家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。



やけどのおそれがありますので、やけ どのおそれのないところまで水圧変動 をおさえた配管設備にしてください。

器具に強い力や衝撃を与えない でください。



器具が破損し、漏水で家財な どを濡らす財産損害発生のお それがあります。

めっきの表面が割れた場合は使 用しないでください。



けがをするおそれがありますので ただちに使用を停止し、新しい部 品に交換してください。

めっき部品はぶつけたり落とし たりしないでください。

鋭利な物や硬い物を当てないで ください。



めっきの表面が割れて、けがをす るおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの 場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻 くなどして、凍結を防止してください。寒冷地 仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓 金具の水抜き操作を行ってください。



発生のおそれがあります。

(めっきシャワーヘッド仕様の場合) めっきシャワーヘッドは、公衆浴 場・レジャー施設等、不特定多数 の方が頻繁に利用する場所では 使用しないでください。



めっきの表面が割れて、けがをす るおそれがあります。

取り付け前に

- ① 使用水圧(A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
- (1) 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ハンドル全開) 〔比例制御式〕最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ

〔給湯・給水圧力〕最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)

- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ④ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑤ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑥ 本製品は改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑦ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

[注意] 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。

1ページ

2ページ